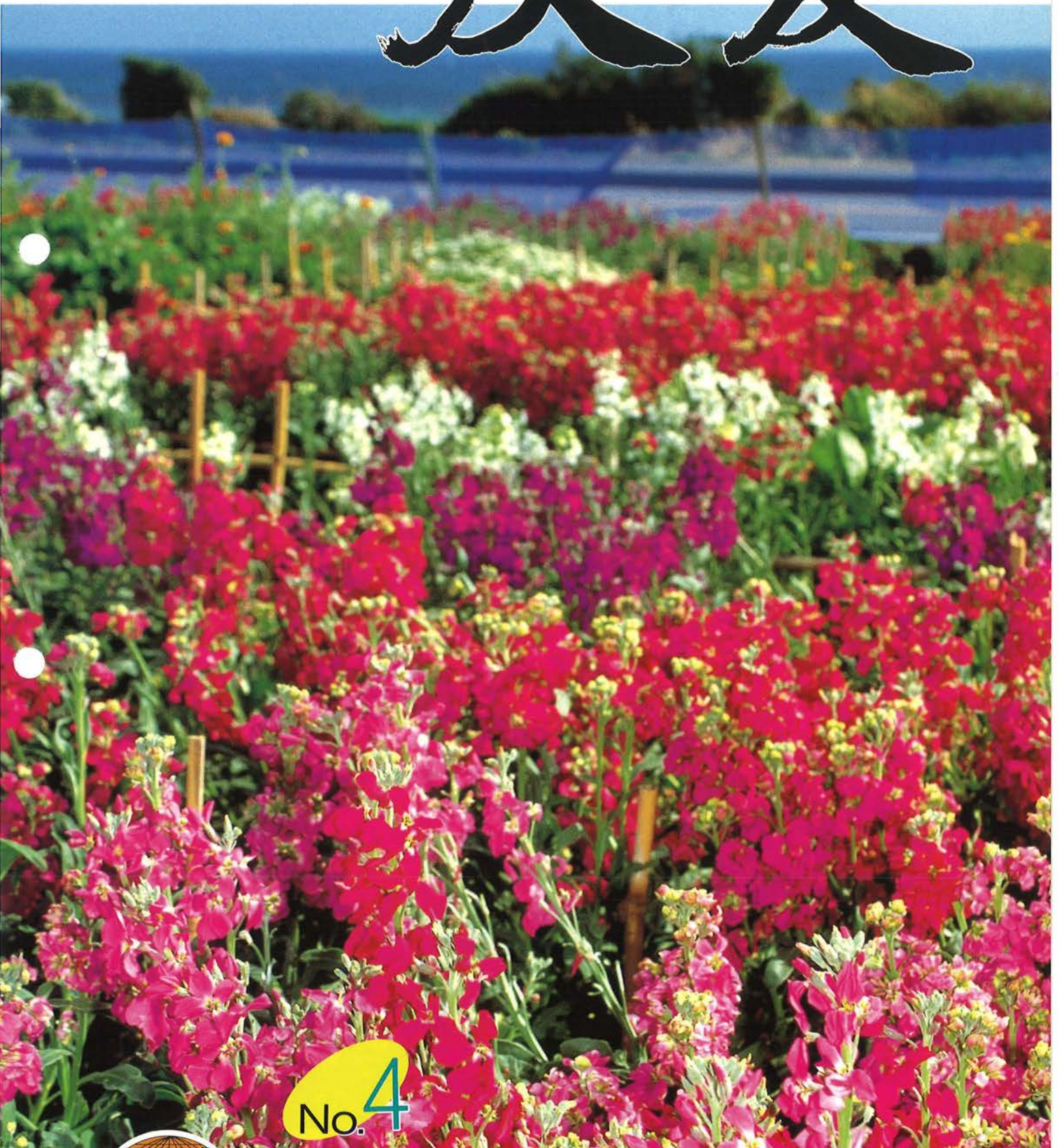




*We Serve*

# 友愛



No. 4

届けよう

価値ある奉仕とL字の仲間

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区 地区ニュース 1995年3月20日発行(1994-1995)

# CONTENTS

## 友愛 NO.4

3. 東南アジアフォーラム タイ、バンコックで開催
4. 今、この時こそ合同アクティビティを (LIONS ISSUE)
5. 千葉県高等学校弁論大会
6. 会員氏名についてお願い!
7. 兵庫県南部地震 (阪神大震災) 義援金拠出状況
8. 第3回キャビネット会議議事録
10. 日本網膜色素変性症協会日本支部支援会員費並びに寄付金一覧
11. ライオンズクラブ活動レポート  
3R合同 柏中央LC 柏LC 行徳LC 市川北LC 下総中山LC 流山LSC 流山LSC  
介護～ボランティア 千葉京葉LSC 船橋LC 松戸東LC 千葉エコーLC 君津LSC  
忘年例会でオークション 歳末助け合い基金 銚子中央レオ 大栄LC 旭LC 多古LC  
千潟LC 京葉LC・京葉LSC 房総勝浦LC 鴨川LSC
21. 1994冬期YE生派遣生報告  
後閑猛伯 若林ふみえ 伊藤真弓 中川真希 山本桂子  
菊地千晶 宮尾綾子 中島章雄  
松本浩一 河野双葉
26. 第41回年次大会 レオ・ライオネスフォーラム／編集後記
27. ライオンズ憲章



# F O R L U M

## 東南アジアフォーラム タイ バンコックで開催



シリキット王妃国際会議場式典の様

12月日から4日まで、タイのバンコック市で東南アジアフォーラムが開催されました。333-C地区からはL江畑耕作・L長島彪名誉顧問夫妻・L吉田政勝名誉顧問・L林静誠副地区ガバナー他40名が参加し、グリマルディ国際会長、タイ国来賓・国際理事・各国地区ガバナー他大勢の列席のもと開催された。

シリキット王妃国会議場は満席で参加者は通路・ロビーとも人だかりでいっぱいでした。次回は34回東南アジアフォーラムは香港で、1995年12月7日から10日まで開催されることとなりました。

大会終了後、王宮・アユタヤ日本人町、素晴らしい運河等それぞれ観光に別れて帰国した。来年度はL林静誠キャビネット、来年も世界大会・東南アジアフォーラムに全員で参加しようと、発言したライオンがいたが当然の如く期待を胸に帰国した。

全員が取れていないのが残念



日本レセプション会場にて



# 今、この時こそ 合同アクティビティを

C地区全メンバーで汗する時、阪神地区大震災被害に思う。

船橋ライオンズクラブ(元会長) L 小西宗仁



## 復興へ厳しい10年の歩み

死者五千有余名という戦後最悪の大惨事となった阪神大震災。交通・通信をはじめ近代的都市施設や機能が集積した大都市の全てを震度7の超激震が打ち砕いた。

その被害額は約10兆円にも及ぶという。行政当局は無論のこと全国から多くの民間ボランティアの手が差しのべられ、支援物資や義援募金が被害地に送られているもののその手段や方法が思うにまかせず被災者の方々の不安や焦燥を察し慰めの言葉もない。

## 街頭 義援募金に市民殺到

わが船橋LCも去る一月の理事会でメンバーから緊急提案がなされ、21日午前11時から約3時間、JR船橋駅前3ヶ所に分散し、義援金街頭募金を道ゆく市民に訴えた。予想以上の被害の大きさを知る市民の関心は高く、学生、サラリーマン、主婦、外国人、身障者、老人の方から浄財が次々と投函され、144万有余円の義援金が集まり即刻、船橋市を通じて神戸市災害本部へ送金された。わがクラブメンバーの呼びかけに呼応して船橋ポートLC、船橋京葉LCも実施され、それぞれ大きな成果を挙げたものの、その義援金や支援物資の調達手段を、かねてより諸先輩LCが提言されているように333-C地区合同のアクティビティとして緊急に対応し実践できないものかと考える。

## 今こそ市民と共に合同アクトを

先般、各クラブ宛に一人一律2000円の義援金の呼びかけがキャピネットから通達されたが、わがクラブの古参格L高橋弘は「今こそライオンズが総力を挙げて命と名誉と富かけるべき時だ」と訴えたように多少の論議は伏せて、今、この時こそC地区、103クラブ、4589名(1994.9.31現在)全員が「市民に感動と共感を呼ぶような合同アクティビティ」として結集を提起したい。合同アクト論の先駆者であるL小泉昭 L吉田政勝 両地区名誉顧問も、合同アクトの条件として地域社会で真に要求されることを、この目で見、耳で聞き、足で探し出し、その奉仕の方法を研究し実践することの意義を強調しておられるが、今回の阪神大震災は、わが国の戦後最大の超大型の被害実態があることから誰れも異論はでないと思う。

## 複合地区の存在感示す時

希わくば333A.B.C地区の複合が団結したならばクラブ数は336、メンバー数18143名となり仮に1億円の義援募金を想定してもメンバー一人当たり5,511円の負担で達成できる。



## 全日本のLCが結集したならば

合同アクトの発想者といわれる333-B地区名誉顧問L鴻巣徳次郎は日本全体のライオンズクラブの金銭アクティビティは約百億円に達していることを指摘し、この30%の30億円を今回のような被災地に集中的に義援すべきと提言されていたが、このような素晴らしい時を捉えた生きた提言はぜひ実行してほしい。「変化は進化に必要な要素」と説いたL鴻巣徳次郎の凌霄益、言葉の如く、多くの心豊かなメンバーの勇気ある提言が会則や規則や手続上の制約や慣習という障壁に阻まれることのないことを。(仁恕)

L小西の掲載文献

①1991年12月号

日本ライオン誌の投稿「ライオンズ究極の奉仕、再燃！合同アクト論に想う」

②1993年4月号

日本ライオン誌座談会特集「例会のあり方」

# 千葉県高等学校 弁論大会



最優秀賞  
県立多古高校  
木内一仁君

千葉県高等学校弁論大会は年二回開催され、二回日の冬の弁論大会はライオンズクラブ国際協会333-C地区の主催で開催されます。例年会場が仲々確保出来ず困っておりますが、本年度は2月4日(土)平山委員長のお骨折りで、新しく竣工した多古町コミュニティプラザという立派な会場で第84回の大会を開催することが出来ました。12月9日の一回目の会合以来、数回にわたり入念な打合せを行い、平山委員長始め多古LCの皆さんには大変なご苦勞をおかけ致しま

した。特に本年は地区ガバナーL江畑耕作の地元の7Rでの開催ということで、RC、L林薫始め、1Z、ZC、L宮内文夫、2Z、ZC、L吉岡実、3Z、ZC、L黒須悦三にも色々ご支援をいただき、7R各LCの大勢のメンバーのご参加により、充実した立派な大会を挙行することが出来ました。この様な事業が立派に行われ、成功することが出来たのは、一人の力ではなく、蔭でこれを支えてくれる大勢の方々のご協力によるものであると皆様方に深く感謝申し上げます。本年は、基準弁論一名の外、18名の弁士が出席致しましたが、弁士のひた向きな発表する態度には、さわやかな感動をおぼえ、物事を見つめる真摯な姿勢には深く心を打たれました。現代の高校生については、とかく問題行動をとりあげ、とやかく言われておりますが、この様な素晴らしい若者も多くいるという事実は、たのもしい事であるし、我々ライオンズは積極的に応援し、この様な青少年を、この様な事業活動を通じてもっともっと広げて行かねばならないとおもう次第です。

—地区LEO委員長 L郷 定男—



## 会員氏名についてお願い！

月例報告書、LCIF献金申込書、終身会員申請書などに記載されている会員氏名が、本部の記録と異なる場合が非常に多くなり、事務処理に支障を来しております。

### 例1

L「山崎」入会の時に「やまさき」と報告があったので、本部の記録には〔Yamazaki〕となっています。ところが、その後その会員がMJF献金をされた時の申請書には「やまさき」

(Yamasaki)と書かれてあります。このような場合、正確な氏名の判断は本部では全くできません。従って、お手紙でクラブにご照会することになります。この問題が解決するまで、一緒に献金された会員たちの分も手続が保留されます。

### 例2

L「山田正治」入会の月報では「やまだ しょうじ」と報告があったので、本部の記録が「Shoji Yamada」となっています。最近送られてきた終身会員

申請書には「やまだ まさはる」(Masaharu Yamada)とふりがなが付してありました。この場合もクラブに照会するため、手続が遅延します。

●ご承知の通り、現在はキー賞が自動的に交付される事になっております。つまり従来クラブ幹事が申請していたキー賞は、

クラブから毎月送られてくる月例報告書に基づいて、コンピューターが自動的に有資格会員を毎月拾い出すシステムになりました。ということは、月例報告書に記入するスポンサー氏名が今まで以上に重要になってきたわけです。スポンサー氏名を一文字間違えてもコンピューターは拒否します。「Yamazaki」と〔Yamasaki〕は、コンピューターでは全く別人扱いになるわけです。

### 解決策

●新入会員を報告する際に、氏名の呼称を本人に確認した上で、正確な呼称を報告すること。

●半期会費請求書と共に送られる会員名簿を良く調べ、スポンサー名、LCIF献金申請書の記入に際しては、この名簿を常に基準として、この名簿にある通りの綴りを使うこと。

●半期会員請求書の名簿の綴りに誤りがある場合、名簿の写しに訂正事項を記入して本部に送ること。この方が、手紙で説明したものより分かり易く、本部で処理しやすい。

会員が名前を変えた場合、必ず本部に報告すること。この場合、月例報告書に新旧、両方の氏名を明記して報告すること。



# 兵庫県南部地震(阪神大震災)義援金拠出状況

333-Cへ: '95.3.7現在・その他の窓口:2月末MR報告

R	Z	クラブ名	333-Cへ	その他の窓口へ	R	Z	クラブ名	333-Cへ	その他の窓口へ	
1	1	市川	100,000	923,591	6	1	成田田	148,000	1,000,000	
		市川東	52,000				酒々井	60,000		
		下総中山	88,000	1,008,163			成田グリーン		1,000,000	
		市川北	684,869				成田平成	110,000	650,000	
	2	浦安徳	1,150,000	3,649,562		成田里	70,000	500,000		
		浦安ソフト	60,000							
		浦安中央	1,011,174							
			256,000	1,878,526						
R		合計	3,402,043	7,459,842						
2	1	松戸	118,000	7,406,000	7	1	銚子	122,000	300,000	
		松戸中央	114,000	760,000			佐原	208,000	190,000	
		松戸ユーカー	150,000	404,000			東庄	60,000		
		松戸南	84,000				神崎	100,000		
	2	流山		482,590		銚子中央	547,000	260,353		
		松戸東	108,000	500,000						
		野田	300,000							
		関宿		100,000						
R		合計	874,000	9,652,590						
3	1	柏	680,000	1,775,648	8	1	木更津	52,000		
		我孫子	193,929				木更津中央	62,000		
		印西	330,000	47,097			袖ヶ浦	78,000	261,301	
		柏さくら	510,000	874,137			木更津金鈴	92,000	519,000	
	2	柏中央	1,000,000	475,644		2	富津	90,000		
		柏グリーン	800,000	1,722,648		上総	70,000			
		柏オーク	116,000	1,075,648		君津	94,000	1,598,400		
		柏なの花	500,000	475,648		君津中央	62,000			
R		合計	4,129,929	6,446,470						
4	1	船橋		1,446,210	9	1	館山	100,000		
		船橋中央	677,636				館山南	80,000		
		鎌ヶ谷	500,000				館山中央	144,000		
		沼南	40,000				館山北	50,000		
	2	船橋東	112,000	2,926,788		館山南	78,000			
		船橋京葉	100,000							
		船橋北	74,000							
		白井	73,000							
		習志野	108,000							
		八千代	114,000	1,000,000						
		習志野中央	147,100	500,000						
		八千代東	100,000	300,000						
		4R合同	636,000							
R		合計	2,981,736	8,522,544						
5	1	千葉	142,000	300,000	10	1	茂原	100,000	4,000,000	
		千葉中央	1,251,000				上総一宮	100,000	703,758	
		千葉若潮	76,000	463,444			茂原長生	70,000	200,000	
		千葉ポート	68,000	1,030,000			白子	44,000		
	2	千葉幕張	94,000	676,000		長南	74,000			
		千葉グリーン	60,000	385,620	長柄	30,000				
		市原	200,000		茂原中央	62,000	1,000,000			
		千葉エコ	175,000	310,000		茂原たちばな	46,000			
		市原南	112,000							
		千葉京葉		300,000						
		市原コスモス	120,000							
R		合計	2,298,000	3,465,064						
その他		柏LS	52,000		R	2	東金	100,000		
		市原南LS	60,000				大網白里	608,000	472,655	
		千葉京葉LS	50,000				九十九里		2,264,200	
		君津LS	80,000				成東		1,105,835	
		君津中央LS	100,000				R	合計	1,234,000	9,746,448
		館山LS	26,000							
		鴨川LS	28,000							
	キャビネット事務局職員	10,000								
	合計	406,000								
R		合計	19,961,708	52,545,508						

# 第3回キャビネット会議議事録

1995年2月26日千葉県労働者福祉センターにおいて開催されたライオンズクラブ国際協会333-C地区1994～1995年第3回キャビネット会議の議事の結果をご報告致します。

尚、当日の出席者名及び挨拶、あるいは各リジョン・チェアマン、各ゾーン・チェアマン、各委員長の報告または意見等は概略キャビネット会議資料に掲載されているとおりです。

1995年2月26日  
ライオンズクラブ国際協会333-C地区  
地区ガバナー L 江畑 耕作

沼南LC、船橋ポートLC、船橋東LC、船橋京葉LC、  
船橋北LC

〔決議〕提案のとおり承認可決。

第5号議案 次期キャビネット構成員等研修会、次期クラブ3役  
研修会を次のとおり開催することに決したい。

次期クラブ3役研修会 1995年5月21日(日)

次期キャビネット構成員等研修会

1995年5月13日(土)

〔決議〕提案のとおり承認可決。

第6号議案 第41回地区年次大会提出議案について次のように決  
したい。

提出議案を別記のとおりと致したい。各分科会にお  
いて審議願うことになるが、追加提案、各分科会へ  
の議案の振り分け、及び各分科会の研究、討論テー  
マについてはガバナーに一任願いたい。

〔決議〕提案のとおり承認可決。

第7号議案 年次大会アワードについて次のように決したい。

年次大会におけるアワード授与の基準は、年度当初  
に示したとおりであり、今後リジョン・チェアマン  
会議において具体的に協議の予定であるが、最終決  
定はガバナーに一任されたい。

〔決議〕提案のとおり承認可決。

## ガバナー提出議案

第1号議案 本年度中間会計報告(1994.7.1～1994.12.31)  
承認の件

(1)一般会計(2)年次大会会計(3)青少年育成資金会計(4)  
研修会会計(5)特別会計(6)災害緊急援助資金会計(7)地  
区ACT資金会計(8)YE緊急援助資金会計(9)梅の木  
植樹剰余金財産

〔決議〕提案のとおり承認可決。

第2号議案 次期キャビネットへの前渡金の件、次のとおり決し  
たい。

次期キャビネットの活動準備金として、一般会計の  
予備費のうち100万円を前渡し致したい。

〔決議〕提案のとおり承認可決。

第3号議案 研修会会計：下半期繰越金331,964円を一般会計の雑  
収入に繰入れすることに決したい。

〔決議〕提案のとおり承認可決。

第4号議案 1995～96年度地区年次大会を次のとおり開催するこ  
とに決したい。

日 時：1996年4月28日(日)

場 所：船橋市総合体育館

ホストクラブ：船橋LC、船橋中央LC、鎌ヶ谷LC、

## 年次大会提出議案

(1) 指名選挙・国際理事候補者推薦委員会提出議案

第1号議案 次期地区ガバナー選出の件(地区ガバナー提出議案)

次期地区ガバナー候補者は現副地区ガバナーL林  
静誠(船橋中央LC)1名である。

第2号議案 次期副地区ガバナー選出の件

(地区ガバナー提出議案)



次期副地区ガバナー候補者は、L浮谷 俊行(松戸LC) 1名である。

第3号議案 国際理事立候補者推薦の件(地区ガバナー提出議案)  
333複合地区ガバナー協議会の決議を尊重し、1995～  
97年度国際理事として、L福井 正憲(335-C地区山  
城LC所属)を推薦する。

〔2〕 決議委員会提出議案

(1)会則・政策・会員・E X T・経理分科会

第1号議案 複合地区会則改定の件(ガバナー協議会議長提案)  
複合地区会則は別記のとおり  
(第3回キャビネット会議資料36～37頁参照)

第2号議案 次期アクティビティ・スローガンを「響かそう世界  
ヘライオンズの鐘」と致したい。(船橋中央LC)

第3号議案 地区アクティビティ資金規則改定の件(地区ガバナー  
提案)  
地区アクティビティ資金規則を別紙のとおり改める。

第4号議案 「1995年世界体操選手権鯖江大会」支援の件  
1995年10月1日～10日の10日間福井県鯖江市で開催  
される「1995年世界体操選手権鯖江大会」を支援す  
る為、会員1名当たり200円の協力金を拠出されたい。

第5号議案 「95年ユニバーシアード福岡大会」支援の件  
(ガバナー協議会議長提案)  
1995年8月23～9月3日の12日間福岡で開催される  
95ユニバーシアード福岡大会を支援するため会員1  
名当たり200円の協力金を拠出されたい。

第6号議案 「第31回全国身体障害者スポーツ大会」支援の件  
(ガバナー協議会議長提案)  
1995年10月28・29日福島県で開催する第31回全国身  
体障害者スポーツ大会を支援するため、会員1名当  
たり100円の協力金を拠出されたい。

第7号議案 第4回全国知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピッ  
ク兵庫大会」支援の件(ガバナー協議会議長提案)  
1995年11月18・19日兵庫県で開催される第4回全国  
知的障害者スポーツ大会「ゆうあいピック兵庫大会」  
を支援するため、会員1名当たり100円の協力金を拠  
出されたい。

(2)G・献血・献腎・薬物乱用防止・糖尿病教育・視聴力保  
護・言語障害・盲人福祉分科会

第1号議案 献血推進研究会の件  
献血推進研究会を今後毎年開催し、献血A C T推進  
に協力せられたい。

〔決議〕年次大会提出議案は各議案とも提案のとおり承認されま  
した。



# 日本網膜色素変性症協会日本支部

## 支援会員会費並びに寄付金一覧

1995,2,10 (現在) 千葉ライオンズクラブ会長 L 塩澤健治

氏名	金額
千葉LC会員	789,000円
千葉LC	3,000,000円
鳩谷敏明松戸LC	30,000円
松丸善次郎	10,000円
白井LC	500,000円
上総LC	30,000円
総武中央LC	10,000円
池田忠彦成田平成LC	10,000円
成田グリーンLC	50,000円
松戸LC	200,000円
長南LC	10,000円
江畑耕作旭LC	20,000円
成田LC	10,000円
鴨川LC	30,000円
館山LC	30,000円
松戸中央LC	10,000円
干潟LC	10,000円
菅谷功干潟LC	10,000円
市川LC	10,000円
松戸ユーカリLC	10,000円
神宮武雄茂原中央LC	10,000円
大和久徳造茂原中央	10,000円
前田勇八千代東LC	10,000円
鋸南LC	10,000円
松井道雄千葉ポート	10,000円
柏中央LC	10,000円
船橋京葉LC	10,000円
習志野LC	10,000円

氏名	金額
千葉京葉LC	10,000円
習志野中央LC	30,000円
吉田政勝	10,000円
千葉幕張メッセLC	30,000円
守田和正佐倉LC	10,000円
秋葉寛上総一宮LC	10,000円
仲啓一野田LC	10,000円
四街道LC	30,000円
八千代LC	300,000円
千葉LC	200,000円
船橋京葉LC	30,000円
四街道LC	30,000円
成田グリーンLC	50,000円
鎌ヶ谷LC	10,000円
袖ヶ浦LC	10,000円
酒々井LC	10,000円
光LC	10,000円
木更津金鈴LC	10,000円
総武中央LC	10,000円
松戸LC	10,000円
旭LC	30,000円
千葉京葉LC	20,000円
松戸東LC	10,000円
房州朝夷LC	10,000円
東金LC	10,000円
成田平成LC	10,000円
柏グリーンLC	10,000円
鋸南LC	10,000円
柏中央LC	10,000円
佐倉LC	10,000円

氏名	金額
松戸ユーカリLC	10,000円
茂原長生LC	30,000円
夷隅LC	10,000円
飯岡LC	20,000円
関宿LC	10,000円
上総LC	10,000円
野田LC	10,000円
千葉LC S 長谷川顕	20,000円
大栄LC	10,000円
市原LC	30,000円
L 松丸善次郎	10,000円
市原南LC	30,000円
船橋LC	10,000円
流山LC	10,000円
市川LC	10,000円
松戸南LC	10,000円
柏LC	10,000円
柏さくらLC	10,000円
栗源LC	20,000円
大網白里LC	10,000円
木更津中央LC	10,000円
船橋京葉LC	10,000円
干潟LC	20,000円
八街LC	10,000円
山田町LC	10,000円
L 林薫 山田町LC	10,000円
千葉エコーLC	20,000円
L 新見孝逸 同上	10,000円
L 中村新一郎 同上	30,000円
	6,239,000円



# Lions 活動レポート LC Club

## 3 R 合同 阪神大震災の 救援街頭募金を展開

リジョン合同で3,355,127円をあつめる

戦後、最大の震災となった“阪神大震災”の被災者救援のため、3リジョン内の全クラブでは街頭募金を実施した。これは後藤隆一リジョンチェアマンの要請により、急速、リジョン内の会長会議が開催され決まったもので、ネスとレオクラブを含む10クラブが合同事業として参加した。

募金活動は柏地区、我孫子地区、印西地区の3か所で行われ、柏地区はJ R柏駅前のダブルデッキで1月27日、28日、29日の3日間にわたり、朝11時から夜の7時まで市民に呼び掛けた。

寒風吹きすさぶ中、リジョンチェアマン、ゾーンチェアマンを先頭に延べ約300人が参加した。連日、マスコミ等で報道されていることもあって市民の反応は良く、募金箱はたちまち満パイ。

結局、今回の合同募金活動では計3,355,127円の善意が寄せられ、そのうち柏市内分の3,252,373円は、2月1日に柏市役所を通し日本赤十字社に送られた。なお我孫子の55,675円、印西地区の47,097円もそれぞれ同様の手続きをとった。



## 柏中央ライオンズクラブ 小中学生書き初め大会

好評の恒例の新春事業に1800人参加

今回で8回を数え今ではすっかり市民の間に定着している柏中央

LC主催の市内小中学生書き初め大会は、1月6日市民体育館で1,800名の生徒を集めて開催された。

小寒で底冷えのする体育館も生徒たちの気迫で寒さも感じられず、参加者は一心に課題に取り組んだ。

この事業は柏中央LCのメンバーでもある加藤雅河先生の指導と奉仕によるところが大きく、今後も協力を得て継続事業としていく方針。



柏ライオンズクラブ

## 気合ほとばしる柔道大会

第49回柏市民柔道大会が11月13日、柏市武道場で開催され市内の小中高をはじめ一般から約500名の選手が出場した。

種目は中高の団体戦をはじめ、一般有段者による選手権まで16種目で、女子も交えて技を競った。

なお今回は柏LCのメンバーでもあるL岩井直信が柏市柔道連盟の会長に就任して初めての大会。入賞者には助川会長よりメダル等が授与され、出場者にも漏れなく参加賞が贈られた。



# Lions 活動レポート LC Club

## 大震災に備えて 「いざという時に役立つ 救急・蘇生法

日本赤十字講習会開催で救急員43名誕生  
行徳ライオンズクラブ

行徳LCでは伊藤会長が本年度のメインアクトとして取り組んできた日本赤十字救急法・蘇生法講習会を開催。4日間の講習会の結果、50名の受講者のうち学科・実技検定で43名が合格、5年間有効の「救急員」の資格を得た。

片肺の夫を支える主婦、ボイスカウトの役員、元消防隊員、幼稚園の先生、サラリーマンなど周辺から募集した受講生の顔ぶれもさまざま。しかし日赤千葉支部の掛川博子指導員の情熱あふれる指導に、みな心を一つにして受講した。

「いつもみんなに迷惑をかけてばかりいるので、救急技術を身につけ、社会に貢献し

たい」と参加した知的障害者も見事に合格。他の受講生たちに支えられての快挙だったが、支える側も支えられる側も掛川指導員が強調していた「救急法の基本は自分が倒れたときに、誰にどうしてほしいのかを考えること」という極意を体得していた。

伊藤会長は「本事業は阪神大震災前に開催され、地震災害を想定したものではなかったが、それぞれの地域における防災活動のためのふくて新しい事業として、多くのLCに取り組んでほしい。救急場面に対応できる人が増え、ひとりでも多くの命を救うことができれば」と話していた。



## 市川北ライオンズクラブ CN15周年記念の集い

94年11月23日、市川市の八幡会館にて市川北LCのCN15周年記念の集いが開催された。市川北LCは継続事業として少年サッカー、少年野球、女子フットベースボールの後援・育成に力を入れており、記念事業もそれぞれの団体への器材寄贈などで合計450万円であった。

また森会長は今年度からクラブ会報の毎月発行にも力を入れている。



# Lions 活動レポート LC Club

下総中山ライオンズクラブ

## C N 25周年の集い開催

94年10月23日、西船橋のフローラ西船にて松丸善次郎前ガバナーのホームクラブである下総中山LCのCN25周年の集いが盛大に開催された。下総中山LCは少年相撲など地元密着型の事業に力をいれているが元来市川市と船橋市の中間に位置しているため、両市との交流が深い。記念事業も市川市に給食配食車2台、船橋市に点字機械一式とバランス。さらにLCIFへ全員\$100献金、J R下総中山駅にベンチ8台寄贈など総額481万円であった。



流山ライオンズクラブ

## 流山市民綱引き大会

「おはよう!!」「頑張ろうね!!」白い息を吐きながらメンバーが続々と集まってきます。

体育指導員の指示でコートをつくる人、バザーの用意をする人、ライオンズクラブのメンバーもネスメンバーと共に阿吽の呼吸でそれぞれの仕事についています。

流山市長、千葉県議会議員の方々をはじめ数多くの来賓をお迎えして、チャーターナイト記念事業の第7回「流山市民綱引き大会」の開会です。

今回も心身障害児者を含む親の会チームの参加がありました。又例年優勝しているチームが三位になるという番狂わせもあり、若い力が活躍しました。

ホールで同時に行われるチャリティーバザーでは採りたて野菜のコーナーに人気が集まりあっという間に完売です。

後片付けを終えて体育館に一礼し、打上げに移っての乾杯ビールの美味しさは格別のものでした。



## 特別養護老人ホーム

—介護～ボランティア—

流山地区にある特別養護老人ホーム「リバーバレス流山」での奉仕活動です。

「介護」二十年前の国語辞典にはなかった言葉です。長寿社会の移りゆく今、特に女性の特質を活かしたボランティアとして、意義のあるものと思われます。求めてもなかなか得られないそれに携わることは、自分自身にとって必ず行きあう問題としても、あだやおろそかにできないものと、心に刻みつけておきたいと思います。



# Lions 活動レポート LC Club

千葉京葉ライオネスクラブ

## 真実の愛を込めて、 チャリティー・パーティー 開かれる

立春も過ぎた2月5日(日)千葉市のホテル・ニューツカモトで千葉京葉ライオネスのチャリティー・パーティーが多数の参加者(五百数十名)を集めて開かれた。この日のチャリティーはこのクラブが略々年初以来精根込めて準備してきた一大イベント、最大のアクティビティであり、既に今年で14回を数える息の長いそして素晴らしい事業である。また地域社会では非常にユニークな存在である夫妻同伴のパーティーである。そのとおり県、市の首長も奥さん同伴、

の他来賓来場者の方々も同伴が多数、見事な盛り上がりと共に華やかで楽しいパーティーは元NHK酒井アナウンサーの名司会のもと、アトラクションに狩人を迎え歌にダンスの楽しい充実感溢れるひとときは瞬くまに過ぎて行った。ガバナーは当日残念ながら国際協会の行事のため出席出来なかったが、キャビネットの役員は多数出席した。

この日のパーティーで感じたことはこのクラブが掲げている言葉「愛と奉仕で平和の世界」の実現こそライオニズムの精神の具現であろう。

「人の心を救うのには人にしかできない」

わずか20人程度のネスクラブのプレゼンテーションの意義は限りなく大きい。また京葉LCのサポートの力を見逃す事もできない。美しい限りである。



# Lions 活動レポート LC Club

船橋ライオンズクラブ

## 阪神大震災義援金募金活動 鹿児島市風水害復旧事業に支援金

1月21日(土)阪神大震災に対して義援金募金活動をJR船橋駅南口・北口で実施しました。

また、一昨年、鹿児島市全域を襲った台風による水害への復旧作業支援金として金八十万円を1月23日、現地に赴き、鹿児島市長に手渡した。

この復旧事業は市の5カ年計画により、現在河川改修や崖崩れの復旧作業が急ピッチで進められているものの普賢岳の噴火騒動の大ニュースに隠されて、関東地区にはあまり報道されなかった。クラブ会長の出身地でもあるところから、その被害の深刻さがメンバー間に伝播され、地道な奉仕活動の積み重ねが稔り、このほど春田会長他3名が鹿児島市を訪問し寄贈いたしました。



松戸東ライオンズクラブ

## チャリティ ダンスパーティー開催

松戸東ライオンズクラブでは、資金獲得事業として、12月24日森のホールにおいて、チャリティ・ダンスパーティーを開催した。ダンスパーティー特別委員会(委員長 小暮勝正)が練りに練った計画により、思ったより盛大に開催され、参加者全員に喜ばれ、初期の資金を獲得することができた。



# Lions 活動レポート LC Club

千葉エコーライオンズクラブ

## 中学生招待弁論大会 (第30回) 優勝者は緑中 “朝本紘充君”へ

千葉市内の中学生招待弁論大会が11月17日(木)に千葉市立白井中の体育館で学校と学区内青少年育成委員会主催、後援千葉エコーライオンズクラブにより開催された。

この弁論大会は1965年に第1回が開催され、今年で30回、時の校長は中村哲二先生、この学校が当時千葉市郊外の田園地帯に位置し、生徒は概ね農家出身の子弟が多かった。そこでより子供の積極性や表現力、発表力、創造力を具えさせようと腐心して、近隣の学校を糾合、市内中学校の弁論大会を開いた。

成果は実って毎年30校内外の学校が一同に会し盛況を極めた。

今年も21校(21名、うち女子17名、男子4名)の弁士が熱弁をふるい会場の聴衆から盛んな拍手を受けた。審査方法は持時間一人5分以内、審査基準は次のとおりです。

(審査基準)

- (1) 普段使っている言葉で話す
- (2) 原稿を読まず、自分の言葉で話す。
- (3) 発表者の表情や態度
- (4) 聞き取り易い声の大きさ、早さ  
・ 加えて内容(構成や主題の展開etc)を対象とする

いずれも中学生としては、ものの見方、感じ方、思いやり、自分を見つめる真摯な態度に好感を抱く人々が大勢いた。

審査は毎年のことながら難航した。入賞者は次の通りである。

優勝 緑中3年 朝本紘充君「剣道に学ぶ」  
2位 白井中3年 鶴田景子さん  
2位 都賀中3年 根本江美子さん

大会を終わって参加者の感じたことは、発表された弁論の中でいかに情操教育が大切かということと、「継続は力なり」という言葉であった。

当日、中村哲二先生に感謝状が贈られた。千葉エコーLCの後援は1975年の第11回大会からである。





# Lions 活動レポート LC Club

君津ライオネスクラブ

## 健康と福祉、 みんなの祭り

天候に恵まれて、人手が多く牛乳・甘酒が大繁盛、障害者他参加者がともに健康で働き、生活できる地域社会を造りあげていくことを目指して、一層の理解を深め合う機会をお手伝い出来た事は大変嬉しかった。



## 忘年例会で オークション

12月8日、忘年例会で会員がそれぞれ品物を持ち寄り、オークションを行った。

合計金額51,950円が集まりACT資金の確保ができました。



## 雨の中で、 歳末助け合い募金

12月11日雨の中歳末助け合い募金で街頭に立ち、親クラブ、レオクラブと一緒に頑張った。ライオネスクラブからは9名参加3時間程で終了した。

その他歳末助け合い募金を含め、5万円を市長さんへ届けた。



# Lions 活動レポート Club

銚子中央レオクラブ

## 滝里学園の園児を招待して 餅つき大会

「銚子中央レオクラブは、1月15日に毎月の例会場である威徳寺において「もちつき大会」を行いました。

当日は、孤児や事情があって両親と一緒に暮らせない子供達が共同生活をしている社会福祉法人・滝里学園（海上郡海上町704、園長土川峰仙）の園児代表20名を招待して、銚子中央レオメンバーと共に40kgの餅をつきました。

つきあがると皆であんこやきな粉やからみ餅にして、おなかいっぱいになり試食した後、参加できなかった施設の子供80人に、つきたての餅20kgとあんこきな粉をプレゼントしました。」



懸命に餅つきをする施設の子ども達。後ろで見守っているのは、銚子中央レオクラブ砂村理紗レオ

大栄ライオンズクラブ

## 町民マラソン大会

1月22日(日)第17回町民マラソン大会が中学校周辺を会場として開催された。本大会は、町民の健康と体力の増強を通して、町の一層の発展を期するものであり、ライオンズクラブとしては、当初より積極的にこれに参加し、又資金面での協力を続け、現在に至っている。

今年は好天に恵まれ、元気いっぱい小学生、中学生のレースに引続き、ファミリー、一般女子、一般男子の競技が展開され、その健脚ぶりに大きな歓声が湧きあがりすばらしい大会となった。



# Lions 活動レポート Club

旭ライオンズクラブ

## 阪神大震災救援街頭募金

1月29日(日曜日)午前10時に30名のメンバーが集まり、メンバーのご家族皆様方のご協力も得て、プラカード、義援金の募金箱などの準備をして、JR旭駅前、ショッピングセンター・サンモール前、旭市民会館前、カインズホーム前の各場所で救援街頭募金を呼び掛けました。義援金251,496円が集まりました。

内訳150,000円をキャビネットの要請の支援のための義援金に送り、残りの101,496円を旭市役所を通じて神戸市の被災地へ送りました。



多古ライオンズクラブ  
いきいきフェスタTAKO'94

## 町のイベントに協賛・ 奉仕活動

1994年11月26日～27日、竣工なった町文化ホール間前の広場で開催されたフェスタ'94に協賛、多古ライオンズクラブとして下記の奉仕活動を行いました。

### 1. 社会奉仕活動

クラブ員全員の協力を得て物品を提供して頂き、2日間にわたり開催、売上金147,700円を町社会福祉協議会へ寄付する。

### 2. 保健委員会活動

27日多古ライオンズクラブとして日赤に献血車を要請して献血を実施、献血者89名21,400cc・成分3名の協力を得ました。26～27

日2日間、今年度ガバナー方針「薬物乱用防止の推進」について、平山地区委員長(多古LC)の指導により、クラブとして「ダメ。ゼッタイ。」のリーフレットを作成、中・高校生・一般町民に啓蒙、リーフレット3,000部を配布、協力をお願いした。

### 3. 環境保全活動

23日、多古町村合併40周年・文化ホール竣工記念式典において多古ライオンズクラブが、環境美化・奉仕活動功労で感謝状を受ける。また、竣工になった文化ホール広場にサツキ3,000本を寄贈。



干潟ライオンズクラブ

## 特殊学級交流学習会

町内特殊学級交流会が「成田ゆめ牧場」で開催された。子どもたちは、広い芝生の中でゲームをしたり跳び回ったり、歌ったりして、楽しさいっぱいの一日であった。

この交流会には、当クラブのメンバーも同行し、子ども達の明るい素直な姿に接することができた。



# Lions 活動レポート LC Club

## 京葉LC・京葉LSC他 市内クラブ (8LC・1LSC)の クリスマス

12月20日頃を過ぎると市内の各クラブは例会を「クリスマス家族」「忘年家族」と、夫々に趣向を凝らして年に一度の会合を、メンバー同士、地域の友人、知己、家族と共々に語り合い、久方振りの交歓、更に深める絆、家族愛をゆくりなく一期一会を実感する。同じ目的に理解と共感を抱き、携えて進む人たちの充実した一夕は瞬く間に過ぎていく。

京葉ライオンズ、ライオネスの合同忘年家族例会はわけても、その雰囲気、運営は素晴らしい、会合には市の教育委員会、同じく国際交流課、中国の千葉大学留学生のお客様等を多数呼んで賑やかな内にも、更にネスを交えて一際華やかな忘年例会を展開し

### 房総勝浦ライオンズクラブ

## 南房総青少年柔剣道大会

房総勝浦ライオンズクラブ主催による南房総青少年柔剣道大会が、平成7年1月29日財団法人日本武道館研修センターで開催されました。

参加チームは剣道で53チーム、柔道で28チームを数え、寒風の中、熱気あふれる試合を展開しました。この大会は房総勝浦ライオンズクラブの青少年健全育成事業の中でも大きな柱であり、今年で13回を数えております。



鴨川魚見塚一戦場公園にて

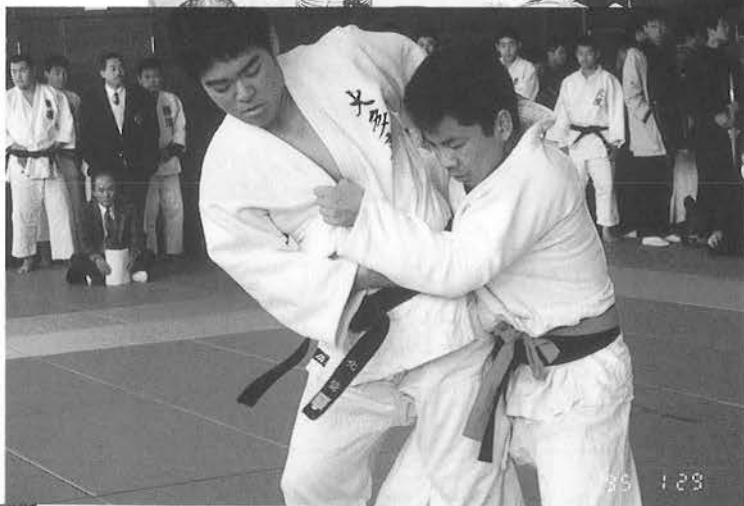
た。アトランションには二胡演奏(あんふんりゅう)やアコーディオン演奏あり、また楽しいオークションで興趣を盛り上げた。冬至も過ぎ一陽来復が期待されるこの時期の例会で一層ライオンズ精神の昂揚に役立った。

他人に尽くすことから始めるのでなければ、

人生の太はなしとげられない。

メルビン・ジョンズ

(記高岩)



### ←鴨川ライオネスクラブ

## ライオンズ奉仕デー ACT報告

天津・鴨川にわかれてゴミ拾いを実施した

# malaysian

「異文化を知り、  
多くの友人を得た」

後閑 猛伯 (SP.C 松戸南LC)



## 1994 冬期YE生 派遣報告

1994年冬YE生派遣のレポートを  
報告いたします。

YE活動による貴重な体験が  
これからの将来に

有形無形の財産として残り、  
大きく役立つことと思います。

以下レポートを掲載いたします。

マレーシアに行くのは初めてであったが、とにかく暑かった。そのことが今でも思い出される。それから、印象的だったのが、風呂である。最初に風呂に入ったときは驚いた。それは、当然あると思っていたバスタブがなかったからである。

ファースト・ホストの家庭に滞在中は、主にホスト・ファーザーの仕事場についていった。特にすることはなく、ただいりただいりであったが、マレーシアの生活を見ることができた。

その他に、マラカやウォーターフォール、学校などにも連れて行ってもらった。マラカはマレーシアの歴史が残っている町であり、観光名所にもなっていた。ウォーターフォールに行き行って驚いたことは、誰もが平気でゴミを捨てていることである。街もそうであったが、どこへ行ってもゴミが目立った。街で食堂などに行くとすごく感じることは活気があることである。それから、街の道路などで気づいたことは、車のことであるが、なぜか、ベンツ、BMW、ボルボ、が多くみられ、また日本車の中古車、マレーシアの国産車などが見られるのだが、その差が激しいと思った。これらのことは発展途上国にみられることなのかも知れない。

学校ではコンピューターの授業があり、教育面でも発展していることがうかがえた。

セカンド・ホストに滞在中は、ホスト・ファーザーとマーザーの仕事が多忙であったため、特に行ったところはないが、その子供が仲良くしてくれて、英語の勉強になった。

マレーシアに滞在して、食事の面で困ったことがあった。やはり食生活が日本とは違うので、どうしても受けつけないものもあった。しかし、マレーシアのフルーツはとても美味しかった。

今回、マレーシアへ行って、異文化を感じる事ができ、多くの友人を作ることができた。これらのことを、これからの自分に役立たせることができると思う。

最後に、素晴らしい機会を与えてくれたライオンズ・クラブに感謝します。

# malaysian

## 「もっと、東南アジアの国々に関心を持つべき」

若林ふみえ (SP.C 流山LC)



マレー系をはじめ、中国系、インド系などの様々な人種で構成される、多民族国家のマレーシア。今回、冬期、交換留学生として、そのマレーシアへ行き、私を受け入れてくださったのは、2軒の中国系家庭でした。

どちらの家でも、観光地だけでなく、デパートや、マーケットなど、様々な所へつれていってくれました。デパートでは、日本の電気製品を、たくさん目にしました。マーケットでは、新鮮な果物、魚、鶏肉、野菜など売られていました。生きているわとりの首に、次々と包丁をいれている場面を目にした時は、ショッキングでした。

どちらのホストファミリーにも、小学生の子供がいたので、一緒にゲームをしたり、折り紙を教えてあげたりして、遊びました。子供たちよりも、自分の方が、遊びに熱中しているのではないかとふっと気づいたことも何度かありました。

何をすることも「Try、Try」と言われ、いろいろなことにチャレンジしました。私の知っている限りの英語で、人々に話しかけることも、いつもチャレンジでした。どこへ行って、誰と話しても、皆、ゆっくり、わかりやすいように話してくれたり、私が、懸命に話すことを、じっくり聞いてくれました。

今回、日本から、50人近くの交換留学生が、マレーシアへ行きました。

マレーシアの人々が、積極的に、日本人との交流をもとうとしているのが、感じられました。日本も、マレーシアを含め、もっと、東南アジアの国々について、関心をもつべきだと思います。

今回はライオンズの交換留学生として派遣して頂き、ありがとうございました。

# malaysian

## 「学校の授業も許可なしに受けられた」

伊藤 真弓 (SP.C 柏中央LC)

私は、この度、ライオンズクラブの冬期、青少年交換留学生として、十二月二十二日から一月六日までの約二週間、マレーシア

の家庭に入り生活しました。

マレーシアに到着して、まず初めのマレーシアの印象は、なんと言っても「暑い」ということでした。しかし、マレーシアの暑さは日本の暑さと違って、過ごしやすかったです。そして、海外へ行くと、たいがいの人が体調をくずすと聞いていましたが、私は至って健康で、毎日元気に生活できました。

私のホストファミリーは、料理店を経営していたので、いろいろな種類の食べ物に挑戦できました。都市に近かったということもあり、同じ歳の女の子と一緒に、バスやタクシーに乗ったりして、街に出て、案内してもらえました。その時気づいたことは、交通ルールがずいぶんと緩やかだということです。第一、横断歩道がないのですから、日本人の私としては、道を一本渡るのも、しっかりと腕をつかまれて、まるで子供のようでした。街の様子といえば、ずいぶんと日本の車や企業があって、見るとほっとすることも、しばしばありました。そして学校へも行きました。日本の学校だったら、授業をうけるには許可が必要ですがそんな許可なしに、私もみんなと一緒に授業をうけました。内容はマレー語だったので全然わかりませんでしたが、先生方も、私をすんなりと受け入れてくれてくれ、生徒達はとても自由な感じでした。こんな経験ができたことだけで、本当に幸せだと思います。また、むこうのライオンズクラブの奉仕活動にも参加できました。その時、現地の新聞記者に取材を受け、日本からの青少年交換留学生として、日本人五人が新聞にとり上げられました。

二週間の間には、もっともっといろいろなことがありましたが、それらを含めて、本当にこれから、大きく役立つと思います。そして友達も何十人と増えました。これから連絡をとり合って、ずっと付き合っていけたらいいと思います。

最後に、すばらしい経験の数々に私にあたえて下さったみなさま、本当に感謝しています。ありがとうございました。



# Malaysian

## 「人の温かさを 肌で感じた」

中川 真希 (SP.C柏中央LC)

マレーシアでの17日間は、とても充実した日々が送れ、たくさんの思い出が生まれ、貴重な経験をすることができました。日常生活からは学ぶことができないものや、自分の身の周りにも存在するのに、普段はそれに気づかないことを思い知ることができました。始めは、生活習慣の違いや、文化の違いに戸惑い、英語もかたことでしたが、日が経つにつれ、むこうの環境にもなれ、楽しい日々を送りました。マレーシアについて一番はじめに感じたことは、暑いこと、食べ物が辛いこと、物価が安いことでした。ホストファミリーと供に見たクアラルンプールの夜景を見たこと、たくさんの星を見ることができ、星って本当はこんなにたくさん見えるもんなんだと感じたこと、みんなで海岸で遊んだこと、ホストシスターの学校に行ったこと。残念ながら学校の授業はマレー語だったので理解することはできなかったけど、たくさんの人達と友達になれたこと。そして、伊藤さんと山本さんと333-A地区からきた大久保さんと工藤さんと私の5人でユタ・バルという町にいった時の思い出。5人を毎日会わせてくれたり、プータやミュージアムにつれて行ってくれたこと。ホストマザーがシャワーを浴びている時、ドア越しに座ってマレーシアソングを教えてもらったこと。ホストファミリーと別れる時に涙を流したこと。この思い出は一生忘れません。人の温かさを肌で感じることができました。話す言葉や文化、生活習慣は違うのに、私を受け入れてくれたホストファミリーやむこうの友達の親切さに私はありがとうと言うばかりでした。ライオンズクラブの青少年交換留学生として、マレーシアにいけたことに誇りを持っています。お世話していただいたライオンズのみなさまに感謝の気持ちでいっぱいです。

# Malaysian

## 「心から感謝している 言葉が見つからなかった」

山本 桂子 (SP.C柏中央LC)

私がマレーシアで感じたこと、それは人間関係の深さです。顔や形や肌色に何の意味があるのでしょうか。日本以上に多民族国家でありながらそれぞれの文化に生きている。日本は単一民族国家ではないのにそうであると錯覚し多くの差別を生んでいる。やはり今まで経てきた歴史の違いからでしょうか。マレーシアでは誰も何も違いはありません。それぞれの個性を尊重し合いながら人間関係を深めていく。確かに日本よりは治安も悪く衛生上も決



して良くはないでしょう。しかし私はマレーシアがとても好きです。

そしてマレーシアでの最大の経験は、二週間を通してずっと外国人という立場に立ったことです。外国人になって初めて見えてきた点がありました。例えばホストファザーは私が夜、外に出たいと言ったら車でクアラルンプールを案内してくれました。ホストシスター達は帰る日に学校を休んで送ってくれました。ホストマザーはいつも私に「お腹は空いてない？」と聞いてくれました。セカンドのホストファミリーではあまり一緒には出かけませんでしたが服のなかった私のために買い物に連れていってくれました。いつも忙しいのに何かと気にかけてくれました。こんな優しい人々に私は満足にありがとうも言えませんでした。この時本当に言葉の伝わらない不自由さをひしひしと感じました。なんと心から感謝しているということになるか私にはわかりませんでした。最後の日、ただ私は「私はマレーシアが好きだ。2年後にもし大学が決まったらもう一度来てもいいか。」としか言えませんでした。そしてもう一つだけとても感謝することがありました。私は帰るときホストマザーにホームステイのために日本に行っている息子に届けてくれて荷物を頼まりました。しかし、送り先が書いていなかったで電話してみました。しかしそこには居なくてやっと見つかった家でこんなことを聞きました。「彼はとても心配して「家は祖父母は英語を話せないし親戚の子ばかりだし大変だろう。」と言って家に電話したんですよ。」この言葉を聞いたとき私は自分はずごくいい家にステイしたんだなあとあらためて確信しました。日本に帰ってきてまで誰かが気にしているなんて思ってもみませんでした。

このような幸福な体験をさせてくださったライオンズクラブの皆さんに本当に感謝します。どうもありがとうございました。

# malaysian

## 「日本の更なる発展 には、見習う点がある」

菊地 千晶 (SP.C柏グリーンLC)



私にとって今回のマレーシア派遣は、本当に素晴らしい経験になりました。どれ程すばらしかったか？について述べるには、筆舌に尽くし難いものがあります。

海外初心者の中には、見るもの、聞くもの、触れるものの全てが、驚きと興奮と感動を伴って伝わってきました。

日本に帰って来た今、ふり返ってみても、あれ程短期間に多くのことを吸収できる機会は、一生のうちでわずかしかないのではないかと思えます。そんな機会に幸運にも恵まれたことを、感謝ずにはいられません。

私は以前、マレーシアについてあまり知りませんでした。しかし今は、多くのことを知っています。宗教・習慣・風俗・伝統・産業・そして人々の温かい心などです。

マレーシアは同じアジアの国の一つとして、日本と類似している点、異なっている点、両方をたぶんに含んだ国です。そして日本が更なる発展を遂げる為には、見習うべき所がたくさんあるのではないかと思います。

日本の未来がどうなっていくか、又、その中でも自分がどう生きていくか、を考えた時、世界の中で日本をどう位置づけるかが、問題になってくることでしょう。そんな時、このY Eの海外派遣制度が、私にとっても、他のY E生にとっても、生きてくるのではないのでしょうか。

最後になりましたが、Y Eに関わった全てのライオンズクラブの方々、ホストファミリーの人々、そしてマレーシアの皆さんに、心から感謝の気持ちを送ります。ありがとうございました。

# malaysian

## 「食文化を通して 国を見た」

宮尾 綾子 (SP.C柏グリーンLC)

私はこのホームステイでいろんな体験をしてきました。一番印象的な事といえば食べ物です。毎日ホストファミリーの人とマレーシアの料理を食べに出掛けたのを覚えています。ある時は、南国のトロピカルフルーツでした。ほとんどおいしかったのですがドリアンだけはどうしても食べられなかったです。あれは私には強烈なニオイを味だけをのこしました。又ある時は、カエルです。はじめは何の肉かもわからず、おいしいねとか言いながらバクバク食べていました。本当は鳥肉のような、それでいて白身魚のような不思議な味でとてもおいしかったです。あとで、実はカエルだったと聞いて泣きそうになりました。

あとは、夜の屋台の料理の数々を覚えてます。どれもこれもすごくおいしくて、安くて、大満足。といった感じでした。この夜の屋台については、味もそうですが、雰囲気が多量に気に入りました。活気があって、いろんな国の人が集まってました。なんだか日本のお祭りのようでした。

私は食文化を通して、マレーシアという国を見ました。いろんな人種、いろんな文化すべてが共存している。そんな不思議でエネルギーギッシュな国でした。

それぞれの人種、文化を主張しあって認めあって共存しているのです。例えば、イスラム教のお祈りの時間には歌が流れだすし、それぞれの宗教の行事をみんなでおいわいするし…。他の国の人も文化を認め合うことによって仲良くしてゆけるのですね。

またチャンスがあったら、ぜひマレーシアへゆきたいです。今度のもっと英語がつかえるようになって、彼らともっと深い話ができたらいいなと思ってます。そしてもっと深く、マレーシアを理解すると同時に、日本を彼らに理解してもらいたいです。





# malaysian

## 「東南アジアの勢いある 経済を見るのを目標に」

中島 章雄 (SP.C 柏グリーンLC)

1月6日に無事に帰国することができました。本当にたくさんの良い経験をさせていただき感謝しています。

私がよい経験といえますのも、普通楽しくホームステイをして、向こうの家族と親密になる程度であったなら、今私はこれ程感動していないように思います。

お話したいことが、たくさんあってこのスペースでは書き切れないので、その1つだけをここで紹介したいと思います。これを読んで興味を持たれましたら直接私に聞いてください。詳しくお話できると思います。

出発以前に、私はこのホームステイの一つの大きな目標として、東南アジアの勢いある経済を見てきたいと考えていました。

ラッキーなことにステイ先のライオンズにレオクラブのカウンセラーの方がいらっしゃいまして、その方からマレーシアの発展状況と発展に対する意欲を聞くことができました。



マレーシアの改革は、D. マハティ首相の時期に始まります。首相は、今ある自国のモノカルチャー経済（主に、ゴム、スズ）に将来的不安を感じ、国民の戦後の日本に対する不満（本来このことについてたくさん述べることもあるが）をうまく発展の活力へと転換させることに成功しました。

その時に首相がいった有名な言葉に「LOOK EAST!」という言葉があります。ここでのEASTが意味する内容はマレーシアの位置からの日本をさします、と共に戦中の日本の残虐的行為に対する恨みばかりに固執するのではなく、日本の先進技術を盗み取り、我々の発展にいかそうではないかという意味が含まれているのです。

そこでマレーシアは市場開放へと進んでゆきます。その話の中で私は、自分の国の戦後処理のふがいなさに恥ずかしさと、技術と交換に戦責を逃れた卑怯さに失望しました。

と、このような自分の知らないところでの日本、知っている積

もりでいた自分の国をマレーシアという異国の地でたくさんのことを知ることができました。

私はたくさんの人達が、このプログラムで海外生活の経験をすることができればいいなと思います。1人1人感じることは違うと思います。しかし、共通することはどれを取っても素晴らしいということではないでしょうか。

皆さんもいくべきです。大切なことはチャンスを逃さないことだとも思います。

# malaysian

## 「高校生活最後の 素晴らしい体験」

松本 浩一 (SP.C 船橋ポートLC)



僕は、今まで日本語以外は、全く話したことがなかったので、マレーシアへ行って生活出来るかとても不安だった。

外国語をわざわざ勉強してまで、よその国の人と交流を計ろうという必要にも迫られていなかった。

でも、マレーシアに着いて毎日ジャラン ジャラン（散歩）をしながら色々な事を教わった。心のこもった食事を作ってくれたお母さん、片言の日本語で一生涯懸命話してくれた子供達、ホストファミリー皆が僕と会話をしようとしてくれるのがとてもうれしく思った。

帰国の時には「あと2週間いろ」と言われたり「新婚旅行に来い」と言われたり「英語をもっと勉強しろ」とも…もう遅いかも知れないが、勉強しようと思った。

後で聞いた話だが、自分が英語が出来なくて、ホストファミリーがなかなか決まらなかったが、ゴルフを少しやっていたので、M a k さんというY E 委員長宅にお世話になることになった。一番広くて、楽しい家だった。お陰で2回もゴルフに連れて行ってもらった。ラッキー

母に「ライオンズクラブで行かせてもらったんだから恩返しをしろ」と言われ、何も出来ないけど今度献血の時には、父と参加しようと思って居ます。

# malaysian 「マレーシアと 日本」

河野 双葉 (SP.C千葉京葉LC)

学生生活最後の冬休みにマレーシアへ三週間滞在してきた。当初の目的はアジアを目で見てくこと、英語を上達させること、だった。しかしそれ以上にたくさんのものを吸収して帰ってくるようになった。

私はどこへ行っても心良く受け入れられ、隣家の人々まで家族のように接してくれた。日本では見慣れないフルーツ、チリの利いたマレー料理、インド料理、古びた香港映画に出てくるような街並み、すべてが新鮮だった。中でも特に心に残っているのは、人々のことだ。

マレーシアはインド人、マレー人、中国人という三つの異なる主な民族で成り立っている複合民族国家だ。この三つの民族がそれぞれの宗教、習慣、言語を保ちつつ、平和に仲良く生活している。日本のような単一民族国に住む私たちには、それがどんなことが容易に想像できないが、アメリカのように年々民族問題のあがる国と比較すれば、マレーシア国民がどんなに幸福で穏やかなのかわかる。

日本では外国からの生徒に対し無関心なのに比べ彼らはいつもすごい好奇心と興味で近づいて来た。日本文化のこと、日本人のこと、今の日本社会のこと、日本語のこと。そして日本語が達者な人に何度も会った。アジアの発展途上国にとって日本の経済成長がどれほど驚異的だったか、日本はアジアにとって未知と神秘だということ強く感じた。だが、「日本に習おう。」と国中で躍起になっている国は、世界広しと言えども、マレーシアだけだろう。日本はとかく閉鎖的だと言われがちだが、アジアのトップを行く先進国として日本はもっとアジア諸国に開放的になり、留学生の受け入れや貿易を積極的にするべきだ。そして国内の政治問題など、些細な争いは止め、「アジアの二十一世紀」に向けて彼らを引っばっていく、リーダー的存在になることが、今の日本には必要だろう。



## ライオンズクラブ国際協会333-C地区 第41回年次大会 レオ・ライオネスフォーラム

日時：1995年4月23日(日)午前10時セレモニー開会  
場所：旭市「千葉県東総文化会館」小ホール(300名)  
講演：テーマ「無着先生の人生セミナー」  
講師：無着 成恭先生  
(10時30分より)～12時・入場無料 ライオンズメンバーもどうぞ



### 無着 成恭先生のプロフィール

1927年、山形市曹洞宗沢泉寺に生まれる。  
山形師範学校卒業後、各中学校に勤務。  
ラジオ「全国こども電話相談室」の解答者を勤め、現在、多古町福泉寺の住職として、アジア難民救済、途上国教育支援等に活躍中。

## 編集後記

阪神大震災への復興支援の願いをこめ、合同ACTとして募金活動をいたしました。その阪神大震災の募金活動の結果を、ぎりぎりまで待つて掲載いたしました。

ライオネスクラブの素晴らしい活動が目立ってまいりました。千葉京葉LSC主催のパーティでの資金獲得活動、阪神大震災支援募金など、規模の大きさに驚きを感じます。

地区PR情報委員長  
L 椎名英夫



## 333-C地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、  
その崇高な精神を信奉し、  
会員である誇りと自覚をもって、  
ライオンズ永遠の発展に寄与するため、  
会員の総意を結集し、ここに地区ライオンズ憲章を制定して、  
その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげよう。

### ライオンズクラブの目的

- 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の効率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

### ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不断の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確認すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私材を借しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさけること。

# ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・セミナー



遊びに、仕事に、  
あなたの強い見方です。



 **ホテルサンガーデンららぽーと**

〒273 千葉県船橋市浜町2の1の1 ☎ (0474)31-7531(代)